

生産地域ヴァグラムの北西部で、隣接する生産地域カンブタールを縦断する、マンハーツ山脈の南端に位置するゲーシングGösing村にある。スールナーが所有する16haのブドウ畑は、ドナウ川に向かって開けた高台の、標高250～350mの南向きの河岸段丘にあって見晴らしが良い。

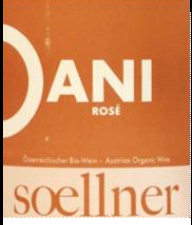
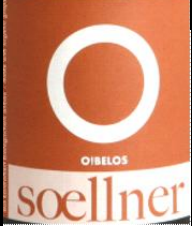
オーナー醸造家のトーニ・スールナーは、16歳の時に初めてぶどうを圧搾した。スールナー家はワイン造りだけでなく、1haの果樹園でリンゴや梨を、16haの農地で様々な穀物を栽培し、豚、羊なども飼育する複合農家で、森林も約5ha所有している。トーニは1995年にダニエラ・ヴィーニュさんとの結婚を機にピオロジックへの転換を決意。1997年にはそれを完了し、2004年にはピオディナミへと移行した。「自然と共に働いて生きる」ことをモットーに、「魂と個性とエネルギーがこもった、飲んで美味しく体に良いワイン」を目指している。

ピオディナミで活性化した土壌にはマンハーツ山脈の花崗岩が混じり、砂、砂利、それにレス土が厚く堆積。昼にはパンノニア気候の乾いた熱風が吹き、夜は山から冷気が降りてぶどうの成熟とアロマの蓄積を助ける。品種の大半はグリュナー・ヴェルトリーナーで、他にリースリング、ツヴァイゲルト、ザンクト・ラウレント、カベルネを栽培し、ステンレスタンク、大樽、小樽で野生酵母で発酵する。

ヴァグラムが発祥の地と言われているローター・ヴェルトリーナーを、1930年代に作られた焙器（ストーンウェア）のタンクで醸し発酵した「イルデン」irdenは、トーニとダニエラの好奇心を象徴している。それ以上に、ベーシックなキュベの安定した品質の高さと素直な飲み心地と、亜硫酸塩無添加でありながら、それを感じさせない自然で力強い果実味のグリュナー・ヴェルトリーナーは瞳目に値する。

	○Marié Pétillant マリエ・ペティヤン			備考	精妙なローター・ヴェルトリーナー60%、ピノ・ノワール10%の気品、リースリング25%の酸味、ムスカテラー5%のマスカットをブレンド。アロマティックで華やかなベット・ナット。
畑	品種：ローター・ヴェルトリーナー、 ピノ・ノワール、リースリング、ムスカテラー 位置：標高約300m 土壌：粘土質、砂質、レス土壌	醸造	一次発酵が完了する前に瓶詰め、そのまま発酵を継続して完全発酵春にデゴルジュして密封		
	○DE GOZNICHE Müller-Thurgau & Riesling & Muskateller デ・ゴズニチェ ミュラー＝トゥルガウ & リースリング & ムスカテラー			備考	ゲーシング村で栽培された、香りに特徴のある3品種をブレンドしたワイン。短い熟成と低めのアルコール度数で、収穫翌年の夏に飲まれることをイメージして造られた。フレッシュ&クリスピーな味に、ムスカテラーのアロマのアクセント。 2022VTから、DACの規定でミュラー・トゥルガウを使ったワインに地名を記載してはならないことになったため、「Gösing'A」から名称変更した。
畑	品種：ミュラー・トゥルガウ、リースリング、ムスカテラー 位置：標高約300m 土壌：粘土質、砂質	醸造	ステンレスタンクでゆっくりと醗酵後、大樽に移されて、澱とともに瓶詰めまで熟成		
	○Grüner Veltliner Wogenrain グリュナー・ヴェルトリーナー・ヴォーゲンライン			備考	ヴォーゲンラインは中高ドイツ語で「なだらかな丘陵地」の意味。グリュナー・ヴェルトリーナーはヴァグラムの主要品種。ゲーシング村の複数の畑の収穫で、軽快で飲み心地のよい、個性的な味わい。
畑	品種：グリュナー・ヴェルトリーナー 植樹：1990年頃 位置：標高290～320m 南・東・西向き 土壌：レス土壌	醸造	熟したブドウを慎重に圧搾、ステンレスタンクで野生酵母により発酵澱の上での熟成後、珪藻土のフィルターにかける その後ステンレスタンクで瓶詰めまで熟成		

	○TONI - Grüner Veltliner トーニ グリューナー・ヴェルトリーナー			備考	トーニTONIは現当主のファーストネームであり、T:tasty(おいしい)、O: original(独自の)、N:natural(自然の)、I:individual(個性的な)、の4つ単語にもかけられたネーミング。フレッシュでみずみずしく、軽やかでバランスの取れたグリューナー・ヴェルトリーナー。
	畑	品種：グリューナー・ヴェルトリーナー 植樹：1995年頃 位置：標高290〜320m 南・東・西向き 土壌：石灰分の多い砂質レス土壌	醸造 酵		
	○Ried Hengstberg - Grüner Veltliner リート・ヘングストベルク グリューナー・ヴェルトリーナー			備考	ヴァグラムで最も標高の高いヘングストベルクの山の南向き斜面の畑。繊細でエキゾチックな香りが飲み手を誘い、華やかで調和のとれたおだやかな果実味が特徴。品のある味わい。
	畑	品種：グリューナー・ヴェルトリーナー 植樹：2003, 2009年 位置：標高371mのヘングストベルクの斜面上方、南向き 土壌：貝殻石灰質	醸造		
	○Ried Fumberg - Grüner Veltliner リート・フムベルク グリューナー・ヴェルトリーナー			備考	フムベルクはドナウ川とアルプス山脈を臨む2haほどの畑。手作業で選別し収穫されたブドウで醸造する。
	畑	品種：グリューナー・ヴェルトリーナー 植樹：1980年〜2005年 位置：標高320m、南向き 土壌：砂質レス土壌	醸造		
	○Grüner Veltliner Goldberg - Sulferfree & Unfiltered グリューナー・ヴェルトリーナー・ゴルトベルク サルファーフリー & アンフィルタード			備考	ゴルトベルクは畑名。クローンではない、古い苗木の収穫を手作業で選別しながら収穫。亜硫酸塩無添加はラシーヌ向けのスペシャルキュベ。複雑で力強く飲みごたえがあり、十分に値段以上の価値があるワイン。 Riesling 10%とWeisburgunder 5%を使っているが、GVは85%なのでラベル上に主要品種として記載できる。すべてGoldbergの畑からの収穫。
	畑	品種：グリューナー・ヴェルトリーナー（クローンではない）85%、リースリング10%、ヴァイスブルグンダー5% 植樹：1990年頃より後 位置：標高300m、南西向きのテラス 土壌：砂混じりのレス土壌	醸造		
	○Irden Allerlei イルデン・アラライ			備考	ヴァグラムが発祥の地と言われているローター・ヴェルトリーナー等、複数の畑から収穫したブドウを1930年代に作られた炆器（ストーンウェア）のタンクで醸し発酵したこのキュヴェはトーニとダニエラの好奇心を象徴している。炆器は第一次世界大戦と第二次世界大戦の間の時期にドイツで作られたもので、現在は製造されていない。通常は陶器ボトルに瓶詰めされているが、ラシーヌ向けにはガラス瓶に瓶詰めしている。
	畑	品種：ローター・ヴェルトリーナー、ヴァイスブルグンダー、ソーヴィニヨン・グリ、リースリング、トラミナー 植樹：2000年〜2013年頃 位置：標高300-360m 南向き、南西向き 土壌：砂質レス土壌、赤色の砂利、白亜質の砂利、1,000万〜2,000万年前の砂質	醸造		

	● DANI - Rosé ダーニ ロゼ			備考	ダーニDANIは造り手Toniの妻ダニエラの愛称であり、D: delicious(おいしい)、A: animated(活き活きとした)、N:natural(自然の)、I: individual(個性的な)、の4つ意味にもかけられたネーミング。軽やかでフレッシュ、イチゴやラズベリーの香る、飲み心地の良い夏向きワイン。
	畑	品種：ブラウアー・ツヴァイゲルト主体、ピノ・ノワール、ブラウフレンキッシュ、カベルネ・ソーヴィニヨンなど（品種構成は毎年変わる） 植樹：1990年頃 位置：標高290～320m、南・東・西向き 土壌：砂質及び粘土質レス土壌	醸造		
	● Pinot Noir - unfiltered & less sulfur ピノ・ノワール アンフィルタード&レス・サルファー			備考	ヴァインフィアテルに位置する2つのビオロジック栽培の畑から、健康的に熟したブドウを選別し収穫している。冷涼な土地のピノ・ノワールで、果実に富み、繊細なストラクチャー、バランスのとれたアロマとミネラルが特徴。
	畑	品種：ピノ・ノワール 植樹：1995年頃より後 位置：南向き、南東向き 土壌：原生岩の南向き緩斜面と、石灰質を多く含む褐色土の南東向き緩斜面	醸造		
	● Oibelos - Zweigelt オイベロス ツヴァイゲルト			備考	この地域の赤品種の可能性を問う実験的な位置づけのワイン。長期熟成により、タンニンは柔らかく、シリアス過ぎない味わいは、トーニらしい。
	畑	品種：ツヴァイゲルト主体、メルロ、カベルネ・ソーヴィニヨン少々 位置：標高300m 土壌：砂質及び粘土質のレス土壌	醸造		